

ICD-11の開発経緯

- 2007年 ICD-11改訂作業開始をプレス発表（東京）
WHOの改訂組織において、専門分野別部会等の共同議長をはじめ多くの日本の医学の専門家・団体が貢献
- 2016年 WHO世界保健総会（WHA）へ経過報告
 - 10月 ICD-11改訂会議（東京）
加盟国レビューの実施
- 2017年 日本医学会、日本歯科医学会、ICD専門委員会、日本WHO国際統計分類協力センター等からの意見を取りまとめ、WHOへ提出
- 2018年 6月 ICD-11 Version for Implementation公表
- 2019年 5月 WHO世界保健総会（WHA）にて採択
- 2022年 ICD-11発効

世界保健機関（WHO）

□ 世界保健機関憲章

第64条 各加盟国は、保健総会が決定した方法によって、統計的及び疫学的報告を提出しなければならない。

□ 世界保健機関分類規則

第2条 死亡及び疾病作成する各加盟国は、世界保健総会がその都度採択する国際疾病、傷害及び死因統計分類の現行の改訂に基づいて、これを行うものとする。この分類は、引用に際しては、国際疾病分類と称することができる。

第3条 死亡及び疾病統計の作成公表にあたっては、各加盟国は、分類、符号処理、年齢区分、地域区分、その他の関連した定義及び基準について、世界保健総会が作成した勧告に、できる限り従わなければならない。

第6条 各加盟国は、本機関より依頼された場合、憲章第64条の規定に基づき、この規則に従って作成された統計及び憲章第63条の規定により通報されない統計を提出しなければならない。

ICD-11の特徴

- 日進月歩の基礎医学・臨床医学・公衆衛生の分野における新しい知見を導入
→ 医学の専門家を中心とした検討
- 複数の使用目的を想定、柔軟なコーディング
→ 疾病・死亡統計、プライマリケア、臨床、研究 等
→ エクステンションコード 等
- 伝統医学を新たに導入 → まずは日中韓の伝統医学（漢方医学）
- 電子環境での活用を前提としたシステム
→ ウェブサイトを介した分類提供、コーディング・ツール等の開発 等
- 病名コードだけでなく、内容（疾患概念）を含めた情報体系へと進化
→ 分類項目にかかる説明、病名（索引用語）を追加
(将来的には内容：症状所見的／解剖学的／組織病理学的／遺伝学的etc.)

ICD-11 死亡・疾病統計用分類（ICD-11 MMS）の構成①（仮訳）

<https://icd.who.int/>

ICD-10

- 第1章 感染症及び寄生虫症
- 第2章 新生物
- 第3章 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- 第4章 内分泌、栄養及び代謝疾患
- 第5章 精神及び行動の障害
- 第6章 神経系の疾患

- 第7章 眼及び付属器の疾患
- 第8章 耳及び乳様突起の疾患
- 第9章 循環器系の疾患
- 第10章 呼吸器系の疾患
- 第11章 消化器系の疾患
- 第12章 皮膚及び皮下組織の疾患
- 第13章 筋骨格系及び結合組織の疾患
- 第14章 腎尿路生殖器系の疾患

ICD-11

- 第1章 感染症又は寄生虫症
- 第2章 新生物
- 第3章 血液又は造血器の疾患
- 第4章 免疫系の疾患
- 第5章 内分泌、栄養又は代謝疾患
- 第6章 精神、行動又は神経発達の障害
- 第7章 睡眠・覚醒障害
- 第8章 神経系の疾患
- 第9章 視覚系の疾患
- 第10章 耳又は乳様突起の疾患
- 第11章 循環器系の疾患
- 第12章 呼吸器系の疾患
- 第13章 消化器系の疾患
- 第14章 皮膚の疾患
- 第15章 筋骨格系又は結合組織の疾患
- 第16章 腎尿路生殖器系の疾患
- 第17章 性保健健康関連の病態



2018年6月現在

ICD-11 死亡・疾病統計用分類 (ICD-11 MMS) の構成② (仮訳)

ICD-10

- 第15章 妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞
- 第16章 周産期に発生した病態
- 第17章 先天奇形、変形及び染色体異常
- 第18章 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- 第19章 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- 第20章 傷病及び死亡の外因
- 第21章 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- 第22章 特殊目的用コード

コード数
約14,000 → 約18,000※

※1～26章のコードのある分類項目数

※V章、X章のコード数は、約14,000

出典：ICD-11公表版（6/18付）、Simple Tabulation ファイル

ICD-11

- 第18章 妊娠、分娩又は産褥
- 第19章 周産期に発生した病態
- 第20章 先天奇形
- 第21章 症状、徴候又は臨床所見、他に分類されないもの
- 第22章 損傷、中毒又はその他の外因の影響
- 第23章 傷病又は死亡の外因
- 第24章 健康状態に影響を及ぼす要因又は保健サービスの利用
- 第25章 特殊目的用コード
- 第26章 伝統医学の病態・モジュール I
- 第V章 生活機能評価に関する補助セクション
- 第X章 エクステンションコード

※下線は、新しく追加された章

※ICD-11の構成は、歴史的精査に耐えてきた構造として、流行病、全身性の疾患、部位別の疾患、発達性の疾患、損傷という基本的な形を維持。第1～4、18～20、22章は、疫学的にまとめることが適当な病態として「special groups」の章、その他の章は、「body systems」の章とされ、病態の位置づけは一般的には前者優先とされている。

出典：ICD-11 Reference Guide 1.2.2 Chapter Structure



2018年6月現在

ICD-10からICD-11 へ (分類の詳細化)

ICD-10	ICD-11
G20 パーキンソン病	8A00 パーキンソン症候群
G21 続発性パーキンソン症候群	8A00.0 パーキンソン病
G21.0 悪性症候群	8A00.00 散在性パーキンソン病
G21.1 その他の薬物誘発性続発性パーキンソン症候群	8A00.01 家族性パーキンソン病
G21.2 その他の外因による続発性パーキンソン症候群	8A00.0Y その他の明示されたパーキンソン病
G21.3 脳炎後パーキンソン症候群	8A00.0Z パーキンソン病, 詳細不明
G21.4 血管性パーキンソン症候群	8A00.1 非定型パーキンソン症候群
G21.8 その他の続発性パーキンソン症候群	8A00.10 進行性核上性麻痺
G21.9 続発性パーキンソン症候群, 詳細不明	8A00.1Y その他の明示された非定型パーキンソン症候群
G22* 他に分類される疾患におけるパーキンソン症候群	8A00.1Z 非定型パーキンソン症候群, 詳細不明
	8A00.2 続発性パーキンソン症候群
	8A00.20 変性遺伝性疾患によるパーキンソン症候群
	8A00.21 片側萎縮片側パーキンソン症候群
	8A00.22 感染・感染後パーキンソン症候群
	8A00.23 血管性パーキンソン症候群
	8A00.24 薬物誘発性パーキンソン症候群
	8A00.25 外傷後パーキンソン症候群
	8A00.26 構造的病変によるパーキンソン症候群
	8A00.2Y その他の明示された続発性パーキンソン症候群
	8A00.2Z 続発性パーキンソン症候群, 詳細不明
	8A00.3 機能性パーキンソン症候群
	8A00.Y その他の明示されたパーキンソン症候群
	8A00.Z パーキンソン症候群, 詳細不明

ICD-10からICD-11 へ (分類軸の変更)

ICD-10	ICD-11
C34 気管支又は肺の悪性新生物	2C25 気管支又は肺の悪性新生物
C34.0 上葉, 気管支又は肺	2C25.0 気管支又は肺の腺癌
C34.1 中葉, 気管支又は肺	2C25.1 気管支又は肺の小細胞癌
C34.2 下葉, 気管支又は肺	2C25.2 気管支又は肺の扁平上皮癌
C34.8 気管支及び肺の境界部病巣	2C25.3 気管支又は肺の大細胞癌
C34.9 気管支又は肺, 部位不明	2C25.4 気管支又は肺のカルチノイドその他の神経内分泌腫瘍
	2C25.5 気管支又は肺の詳細不明の悪性上皮性腫瘍
	2C25.Y その他の明示された気管支又は肺の悪性新生物
	2C25.Z 気管支又は肺の悪性新生物, 詳細不明

※ICD-11 MMS (2018/6/18), 仮訳

ICD-10からICD-11 へ (章の新設：免疫系の疾患)

ICD-10	ICD-11
第3章 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 D70-D77 血液及び造血器のその他の疾患 D70 無顆粒球症、好中球減少症 等 D80-D89 免疫機構の障害 D86 サルコイドーシス 等 第13章 筋骨格系及び結合組織の疾患 M30-M36 全身性結合組織障害 M32 全身性エリテマトーデス (SLE) M33 皮膚筋炎 M34 全身性強皮症 M35 その他の全身結合組織疾患 M35.2 ベーチェット病 等 第19章 損傷、中毒及びその他の外因の影響 T78 有害作用、他に分類されないもの 食物アレルギー、アナフィラキシーショック 等 第20章 傷病及び死亡の外因 X23 ハチとの接触 Y40-Y59 有害作用を引き起こした薬物 等 ※死亡統計では、アナフィラキシーによる死亡は、原死因は20章でコードし、第19章のコードを付加する。	第4章 免疫系の疾患 原発性免疫不全症 後天性免疫不全症 4A20 臓器非特異的全身性自己免疫疾患 4A40.0 全身性エリテマトーデス 等 自己炎症疾患 4A62 ベーチェット病 等 アレルギー性又は過敏性の病態 4A84 アナフィラキシー 4A8Y アレルギー 等 白血球系統に係る免疫系疾患 4B00.0 好中球減少症 等 免疫系に係る特定の病態 4B20 サルコイドーシス 等 4B40 胸腺の疾患 4B4Y その他の明示された免疫系の疾患 4B4Z 免疫系の疾患、詳細不明  アレルギー ヒトの反応の状況をよりよく理解するために免疫系の疾患の下にグルーピング

※ICD-11 MMS (2018/6/18), 仮訳

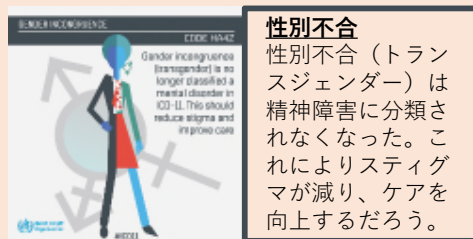
ICD-10からICD-11 へ (章の新設：睡眠・覚醒障害)

ICD-10	ICD-11
第4章 内分泌，栄養及び代謝疾患 E66.2 肥満低換気症候群 第5章 精神及び行動の障害 F45 身体表現性障害 歯ぎしり 等 F51 非器質性睡眠障害 F51.0 非器質性不眠症 F51.1 非器質性過眠症 F51.2 非器質性睡眠・覚醒スケジュール障害 F51.3 夢遊症 F51.4 夜驚症 F51.5 悪夢 第6章 神経系の疾患 G25.8 その他の異常運動 むずむず脚症候群 G47 睡眠障害（器質性） G47.0 不眠症 G47.1 過眠症 G47.2 睡眠・覚醒スケジュール障害 G47.3 睡眠時無呼吸 G47.4 ナルコレプシー G47.8 その他の睡眠障害 G47.9 睡眠障害，詳細不明	第7章 睡眠・覚醒障害 不眠症 過眠症 7A20 ナルコレプシー 等 睡眠関連呼吸障害 7A40 中枢性睡眠時無呼吸 7A42.0 肥満低換気症候群 等 概日リズム睡眠・覚醒障害 睡眠関連運動障害 7A80 むずむず脚症候群 7A83 睡眠関連歯ぎしり 等 睡眠時随伴症 ノンレム睡眠からの覚醒障害 7B00.1 睡眠時遊行症 7B00.2 睡眠時驚愕症 等 レム睡眠関連睡眠時随伴症 7B01.0 レム睡眠行動障害 7B01.1 反復性弧発性睡眠麻痺 7B01.2 悪夢障害 等 7B2Y その他の明示された睡眠・覚醒障害 7B2Z 睡眠・覚醒障害，詳細不明

※ICD-11 MMS (2018/6/18), 仮訳

ICD-10からICD-11 へ（章の新設：性保健健康関連の病態）

ICD-10	ICD-11
第5章 精神及び行動の障害 F52 性機能不全，器質性障害又は疾病によらないもの F64 性同一性障害（Gender identity disorder） 第14章 腎尿路生殖器系の疾患 N94 女性生殖器及び月経周期に関連する疼痛及びその他の病態 N94.1性交疼痛	第17章 性保健健康関連の病態 性機能不全（Sexual dysfunctions） 性欲低下症、性的興奮不全、オルガズム不全、射精不全 性疼痛障害（Sexual pain disorders） 性疼痛・挿入困難症 性機能不全及び性疼痛障害における病因的事項 医学的病態又は損傷等に伴うもの、精神障害に伴うもの、物質使用に伴うもの 等 性別不合（Gender incongruence） 青年期又は成人期の性別不合、小児期の性別不合 第16章 腎尿路生殖器系の疾患 女性生殖器の非炎症性障害 性交疼痛



※「主に性的伝播による感染症（Predominantly sexually transmitted infections）」は、第一次製表では、ICD-10と同じく、第1章に分類されるが、第17章にもダブルペアレントされており、用途に応じて集計することが可能となっている。これには、梅毒、クラミジアやヘルペスウイルスによる性感染症、HIV病等が含まれる。

※ICD-11 MMS (2018/6/18), 仮訳

ICD-11

第26章 伝統医学の病態－モジュール I

伝統医学疾病 (TM1)

証 (TM1)

基本となる証 (陰陽・虚実・寒熱・表裏) (TM1)

熱証 (TM1)、寒証 (TM1)、実証 (TM1)、虚証 (TM1)、

寒熱中間証 (TM1)、虚実中間証 (TM1)、寒熱錯雑証 (TM1) 等

環境証 (TM1)

気血水の証 (TM1)

臓腑病証 (TM1)

経絡病証 (TM1)

正経病証 (TM1)、奇経八脈病証 (TM1)

六病位 (TM1)

三焦証 (TM1)

衛気営血証 (TM1)

四象体質病証 (TM1)



【デスクリプションより抜粋 (抄)】

※本章は、死亡報告 (訳注：国際的な死亡データ報告) には使用しない。「TM1」は、伝統医学の病態－モジュール I を意味する。通常の医学的概念と明確に区別できるよう、本章のすべての伝統医学の診断カテゴリーには (TM1) が付されている。

※「伝統医学疾病 (TM1)」は、特定の症状、徴候等とともに発現する身体系の機能不全をいう。

※「証 (TM1)」は、総体的徴候 (訳注：脈診、舌診、腹部診察等による所見) 及び患者の体質を含む患者の臨床像全体をいう。

ICD-10からICD-11 へ（章の新設：生活機能評価に関する補助セクション）

ICD-11

第Ⅴ章 生活機能評価に関する補助セクション

－ WHODAS 2.0 36項目版

- 認知
- 運動・移動
- セルフケア（WHODAS関連項目）
- 他者との交流
- 日常活動
- 社会参加及び健康問題の影響

－ 簡易版モデル障害調査

- 視覚及び関連機能
- 聴覚と前庭の機能
- 精神機能
- 感覚機能と痛み

－ 基本的機能の領域

- 音声と発話の機能
- 心血管系・血液系・免疫系・呼吸器系の機能
- 消化器系・代謝系・内分泌系の機能
- 尿路・性・生殖の機能
- 神経筋骨格と運動に関連する機能
- 皮膚及び関連する構造の機能
- 一般的な課題と要求
- 運動・移動
- セルフケア
- 家庭生活
- 対人関係
- 学習と知識の応用
- コミュニケーション
- 主要な生活領域
- コミュニティライフ・社会生活・市民生活
- 精神機能
- 感覚機能と痛み

【デスクリプションより】

※このセクションでは、健康に関連する生活機能のレベルを記述し定量化するのに適した、個人の生活機能の概略（プロフィール）とスコアを作成することができる。生活機能評価に用いられるように、このセクションにはWHOによって開発されたICFに基づく2つのツール（「WHO障害評価面接基準 (WHODAS 2.0 36項目版)」と「モデル障害調査 (MDS)」）の項目を含んでいる。

※「基本的機能の領域」は、国際生活機能分類 付録9 “理想のおよび最低限の健康情報システムまたは調査のために提案されたICFデータの要件”より

※ICD-11 MMS (2018/6/18), 仮訳

ICD-10からICD-11へ (脳卒中の移動)

ICD-10	ICD-11
第9章 循環器系の疾患 I60-I69 脳血管疾患 I60 くも膜下出血 I61 脳内出血 I62 その他の非外傷性頭蓋内出血 I63 脳梗塞 I64 脳卒中、脳出血又は脳梗塞と明示されないもの I65 脳実質外動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの I66 脳動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの I67 その他の脳血管疾患 I68* 他に分類される疾患における脳血管障害 I69 脳血管疾患の続発・後遺症	第8章 神経系の疾患 脳血管疾患 頭蓋内出血 脳虚血 8B20 虚血性か出血性か不明な脳卒中 8B21 脳の急性症状を伴わない脳血管疾患 無症候性脳梗塞 等 8B22 特定の明示された脳血管疾患 脳動脈解離、脳静脈血栓症 等 8B24 低酸素生虚血性脳症 8B25 脳血管疾患後遺症 8B26 脳血管疾患における脳の血管性症候群



※ICD-11 MMS (2018/6/18), 仮訳

ICD-10からICD-11 へ（章の新設：エクステンションコード）

X章 エクステンションコード		主な内容
重症度値	Severity Scale Value	重症度、ステージ
時間軸	Temporality	無症候性～再発性、続発症の別；急性・慢性の別
病因	Aetiology	感染病原菌
局所スケール	Topology Scale Value	左右の別、広汎性・限局性の別
解剖学的詳細	Specific Anatomic Detail	部位
組織病理	Histopathology	新生物におけるより詳細な組織的分類
損傷の状況	Dimensions of injury	火傷や骨折の範囲・種類
外因の状況	Dimensions of external causes	不慮・故意の別、発生場所
意識レベル	Consciousness	グラスゴー・コーマ・スケール（GCS）によるスコア
物質	Substances	各種化学物質、薬剤
診断の状況	Diagnosis code descriptors	受診又は入院の理由、医療資源病態、入院後に発症
背景状況	Capacity or context	周産期死亡での使用を想定

※ICD-11 MMS (2018/6/18), 仮訳

ICD-10からICD-11 へ（URI（ユニークID）の活用）

- ICD-11では、分類コードだけでなく、URI（Uniform Resource Identifier）を用いてより詳細な情報管理が可能となった。
- 詳細さに応じ、ICDコード、ファウンデーションID、用語IDを使用することができる（但し、用語IDは、現時点ではバックグラウンドのみで使用）。

例（指定難病の把握）：

- ・ 筋萎縮性側索硬化症→疾患概念の範囲が、MMSの分類項目8B60.0と同じなので、ICDコードで疾患の特定可能
- ・ 球脊髄性筋萎縮症→疾患概念が、8B61.4限局性脊髄性筋萎縮症よりも狭いため、ICDコードだけでは、疾患の特定が難しいが、目的に応じて、ファウンデーションID（<http://id.who.int/icd/entity/1604214898>）を用いることにより、より詳細なデータ把握が可能となる。

※仮訳

指定難病の例			ICD-11	ファウンデーションID
1	球脊髄性筋萎縮症	Bulbospinal muscular atrophy	8B61.4	http://id.who.int/icd/entity/1604214898
2	筋萎縮性側索硬化症	Amyotrophic lateral sclerosis	8B60.0	http://id.who.int/icd/entity/1982355687
3	脊髄性筋萎縮症	Spinal muscular atrophy	8B61.Z	http://id.who.int/icd/entity/71074342
4	原発性側索硬化症	Primary lateral sclerosis	8B60.4	http://id.who.int/icd/entity/1686688462
5	進行性核上性麻痺	Progressive supranuclear palsy	8A00.10	http://id.who.int/icd/entity/1493396558
6	パーキンソン病	Parkinson disease	8A00.0Z	http://id.who.int/icd/entity/296066191
7	大脳皮質基底核変性症	Corticobasal degeneration	8A00.1Y	http://id.who.int/icd/entity/348567584
8	ハンチントン病	Huntington disease	8A01.10	http://id.who.int/icd/entity/2132180242
9	神経有棘赤血球症	Neuroacanthocytosis	3A10.Y	http://id.who.int/icd/entity/1012724153
10	シャルコー・マリー・トゥース病	Charcot-Marie-Tooth disease	8C21.Z	

※ICD-11 MMS (2018/6/18), 仮訳

ICD-10からICD-11へ (分類項目の内容充実)

ICD-11 (Mortality and Morbidity Statistics)

Search [Advanced Search] Foundation Linearizations Contributions Info More...

ICD-11 - Mortality and Morbidity Statistics

- 01 Certain infectious or parasitic diseases
- 02 Neoplasms
- 03 Diseases of the blood or blood-forming organs
- 04 Diseases of the immune system
- 05 Endocrine, nutritional or metabolic diseases
- 06 Mental, behavioural or neurodevelopmental disorders
- 07 Sleep-wake disorders
- 08 Diseases of the nervous system
- 09 Diseases of the visual system
- 10 Diseases of the ear or mastoid process
- 11 Diseases of the circulatory system
- 12 Diseases of the respiratory system

Upper respiratory tract disorders

- CA00 Acute nasopharyngitis
- CA01 Acute sinusitis
- CA02 Acute pharyngitis
- CA03 Acute tonsillitis
- CA04 Acute laryngopharyngitis
- CA05 Acute laryngitis or tracheitis
- CA06 Acute obstructive laryngitis or epiglottitis
- CA07 Acute upper respiratory infections of multiple and unspecified sites
- CA08 Vasomotor or allergic rhinitis
- CA09 Chronic rhinitis, nasopharyngitis or pharyngitis
- CA0A Chronic rhinosinusitis
- CA0B Silent sinus syndrome
- CA0C Cyst or mucocele of nose or nasal sinus
- CA0D Deviated nasal septum
- CA0E Hypertrophy of nasal turbinates
- CA0F Chronic diseases of tonsils or adenoids
- CA0G Chronic laryngitis or laryngotracheitis
- CA0H Diseases of vocal cords or larynx, not elsewhere classified
- CA0J Nasal polyp
- CA0K Abscess of upper respiratory tract
- CA0L Dyskinesia trachea
- CA0M Trachea ossification
- CA0N Perichondritis of trachea
- CA0P Trachea stricture
- CA0Q Tracheomalacia
- CA0R Rhinoscleroma

Foundation Id : <http://id.who.int/icd/entity/2066255370>

CA00 Acute nasopharyngitis

Parent

Upper respiratory tract disorders

Show all ancestors

ICD-10 : J00

Description

A disease of the upper respiratory tract, caused by an infection of the pharynx. It is characterized by pharyngitis, runny nose, stuffy nose, or cough. Transmission is by inhalation of infectious droplets, or direct contact.

Additional Information

The common cold (also known as nasopharyngitis, rhinopharyngitis, acute coryza, or a cold) is a viral infectious disease of the upper respiratory system which affects primarily the nose. The meaning of nasopharynx is the same as epipharynx however the term nasopharyngitis is generally used when the infection is in the nose. The common cold is usually caused by a viral infection, other causes include bacterial or mycoplasma infections. Patients with nasopharyngitis present with cough, pharyngeal pain, running nose, stuffy nose as local symptoms, and increasing fever, general fatigue and headache as general symptoms. These symptoms usually resolve in seven to ten days, with some symptoms lasting up to three weeks.

Exclusions

- Chronic nasopharyngitis (CA09.1)
- pharyngitis NOS (CA02)
- Acute pharyngitis (CA02)
- Chronic pharyngitis (CA09.2)
- rhinitis NOS (CA09.0)
- sore throat NOS (CA00-CA0Z)
- Vasomotor rhinitis (CA08.3)
- Chronic rhinitis (CA09.0)
- Allergic rhinitis (CA08.0)
- acute sore throat (CA02)
- chronic sore throat (CA09.2)

All Index Terms

- Acute nasopharyngitis
- acute infective rhinitis
- cold
- common cold
- coryza
- head cold
- infective nasopharyngitis
- Rhinopharyngitis
- acute coryza
- acute nasal catarrh
- acute rhinitis
- infective rhinitis
- acute nasopharyngeal catarrh

Hide index terms

①分類名

③解説文

④追加情報

⑤除外用語

②索引用語

死亡・疾病統計用分類
(ICD-11 MMS: Mortality
and Morbidity Statistics)

Proposals

ICD-11のコード体系

1桁目 章を表す 英数字	2桁目 英字	3桁目 数字	4桁目 英数字	5桁目 英数字	6桁目 英数字	7桁目 英数字
E	D	1	E	.	E	E (E)

※ 2桁目は必ず英字（ICD-10コードと混同しないように）

※ 英字には、O、I（オーとアイ）は使用されない

※ ICD-10の「その他」と「詳細不明」即ち「.8」「.9」は、ICD-11では、「.Y」「.Z」

例：

- 脾周囲炎 **3B81.A**
Perisplenitis
- 胃潰瘍，詳細不明 **DA60.Z**
Gastric ulcer, unspecified
- 慢性腎臓病ステージ3 **GB61.2**
Chronic kidney disease, stage 3

ICD-11の章（章・コード番号早見表）

章番号	1桁目		章番号	1桁目	
1	1	感染症	15	F	筋骨格
2	2	新生物	16	G	泌尿器
3	3	血液	17	H	性保健
4	4	免疫	18	J	妊娠
5	5	内分泌	19	K	周産期
6	6	精神	20	L	発達障害
7	7	睡眠障害	21	M	症状
8	8	神経	22	N	損傷
9	9	視覚	23	P	外因
10	A	耳	24	Q	保健サービス
11	B	循環器	25	R	特殊
12	C	呼吸器	26	S	伝統医学 ^{TM1}
13	D	消化器	V	V	生活機能
14	E	皮膚	X	X	エクステンション

Agreed Updating Cycle

The updating is carried out at different levels with different frequencies. That will keep stability for mortality and allow quicker updates for morbidity use.

10 years - Mortality and morbidity rules

5 years - Updates that impact on international reporting (the 4 and 5-digit structure of the stem codes) will be published every five years.

1 year - Updates at a more detailed level

1 year - Additions to the index or extension codes